

事業報告書

(第2期・平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 第2回定時総会の開催

平成24年4月2日に大分県協会は一般社団法人大分県中小企業診断士協会として法人登記し、第一期の事業年度が終了したことを受け、定款第14条（開催）と第15条（招集）の規定に基づき、下記内容にて、第2回定時総会を開催しました。

会員総数47名のうち36名（本人出席27名・委任状出席9名）の参加を得て、平成24年度事業報告・平成24年度収支決算報告並びに平成25年度事業計画・平成25年度収支計画の報告と承認がなされました。

・日時	平成25年5月11日（土） 17:30～18:30
・場所	大分市都町2-1-7 大分アリストンホテル2階 チャイナ・ダイナー
・賛助会員ご臨席	大分みらい信用金庫様
・記念講演	株式会社日本政策投資銀行 大分事務所所長 三浦宏樹氏 「日本経済の展望と大分の活性化～大分の成長戦略を考える～」

2. 会員数の推移

大分県協会では定款第6条にて、正会員、名誉会員、賛助会員（個人・法人）の制度を設けています。この1年間の名誉会員を除く会員の増減の状況は次のとおりです。

[計画]

種別	25年4月1日	入会	退会・転出	26年3月31日
正会員	47名	5名	5名	47名
賛助会員（法人）	5名	0名	0名	5名
賛助会員（個人）	2名	0名	0名	2名
合計	54名	5名	5名	54名

[実績]

種別	25年4月1日	入会	退会・転出	26年3月31日
正会員	47名	5名	6名	46名
賛助会員（法人）	5名	0名	名	5名
賛助会員（個人）	2名	1名	名	3名
合計	54名	名	名	54名

注1. 賛助会員（法人）は、大分銀行、大分みらい信用金庫、大分信用金庫、大分県信用組合、

大分ベンチャーキャピタルの各社です（敬称略）。

[入退会者等一覧]

入会者				退会者・他県協会への転出者			
添田充洋	25. 4. 1	小野直	25. 8. 1	山崎昌彦	26. 1. 14	森秀一	26. 3. 31
石井信大	25. 4. 1	三室忠之	26. 1. 1	小手川信彦	26. 3. 24	秋吉英矢	26. 3. 31
村上洋一	25. 4. 15	宮本章之	26. 3. 12	後藤智史	26. 3. 25	佐藤教正	26. 3. 31

※入会者のうち、宮本章之氏は個人賛助会員です。

3. 自主研究会活動

(1) 25年度の実績

25年度事業で研究会等の募集を行ったところ、下記のとおり申し出があり、「自主研究会等助成費（※）」の支給要件に該当しましたので、承認をいたしました。募集件数は自主研究会が10研究会、調査研究事業が1件でした。各研究会の報告書は大分県協会のHPにアップしています。

[研究会等一覧]

研究会名	代表者	人数	研究会の狙い（※）
6次産業化研究会	首藤 毅	9名	6次産業化の現状と課題を先行研究や実践者等から学び、診断士としての支援のあり方を研究する。 具体的なノウハウ習得のために、6次産業化の取り組むにつながる案件の発掘や、新商品開発、販路拡大のアドバイス等の支援実績をつくる。
経営改善・事業再生研究会	菊池武司	12名	中小企業診断士としての再生支援のあり方を研究し、スキルアップを図る
大分 BSC 研究会	岩崎美紀	6名	BSC（バランススコアカード）理論を知り、中小企業診断への応用手法を研究する
ホテル旅館経営支援研究会	中川智仁	7名	研究テーマを「繁盛しているホテル旅館の成功要因に関する研究調査」とする。創業から長い旅館、情報発信が上手な旅館、企画力が話題の旅館などの切り口で繁盛している施設について数軒視察調査を実施し、ホテル旅館の繁盛・成功要因の取りまとめを試みる。

※大分県協会HPの「平成25年度・自主研究会等の活動報告書」に原文のまま転記しています。

4. 月次研修会の実施

(1) 目的

25年度も24年度に引き続き、大分県協会の会員（正会員・賛助会員（行員・職員））を対象に、コンサルティング能力等の向上と幅広い知識の習得を目指して研修会を定期的を開催

しました。

1 回当りの参加者は 24 年度実績の 18.4 人（内、賛助会員 6.8 人）と比較すると、11.9 人（内、賛助会員 1.3 人）と少なくなっています。メーリングリスト等を通じた告知にも更なる工夫が必要であると課題も見えてきました。

[月次研修会の概要]

開催月	研修会名	講師	参加人数
4 月 17 日	株式公開（IPO）の手順と企業経営にもたらす効果	後藤智史氏（大分県協会 会員・大分 VC ㈱課長	10 名（2 名）
5 月 15 日	大分県内の長寿企業研究成果の報告	吉松研一氏（監事）	15 名（1 名）
6 月 19 日	中小企業再生（経営改善）の取組み状況と大分県における支援実施体制の構築について	斎藤洋一氏（大分県中小企 業再生支援協議会 PM）	23 名（4 名）
7 月 17 日	シェール・ガス革命と再生エネルギー	秋吉英矢氏（理事）	10 名（0 名）
8 月 7 日	労働法の知識～基準法と契約法を中心として～	堀勇氏（理事）	7 名（0 名）
9 月	～休講～		
10 月 16 日	介護支援施設の現状と支援体制	菊池武司（理事）	9 名（2 名）
11 月 17 日	5 団体合同研修会（※）		9 名
12 月	～休講～		
1 月 15 日	税金のあれこれ～税法改正を中心として～	税理士阿部浩司氏（大分 総合会計事務所）	11 名（1 名）
2 月 12 日	BSC（バランストスコアカード）を使った経営革新計画策定支援	岩崎美紀氏（大分 B S C 研究会代表）	7 名（1 名）
3 月 12 日	6 次産業化支援のポイントについて	首藤毅氏（6 次産業化研 究会代表）	15 名（1 名）

※5 団体：大分県中小企業診断士協会、日本システム監査人協会、システム監査学会、大分 I T 経営推進センター、I T C 大分

5. 無料相談会

平成 22 年度から継続的に実施している大分県立図書館での無料経営相談会も 4 年目となりました。下記に相談者数の推移を記載してみました。24 年度に 12 名と落ち込みましたが、25 年度は 25 名と増加しています。なお 12 ヶ月のうち、相談者 0 名の月が 2 ヶ月、相談者 1 名の月が 3 ヶ月と月によるバラツキが多い結果となっています。

- ・平成 22 年度相談者数：32 名、男性 25 名（78%）・女性 7 名（22%）
- ・平成 23 年度相談者数：27 名、男性 17 名（63%）・女性 10 名（37%）

- ・平成 24 年度相談者数：12 名、男性 8 名（67%）・女性 4 名（33%）
- ・平成 25 年度相談者数：25 名、男性 12 名（48%）・女性 13 名（52%）

[相談者一覧（性別・年代別・相談内容別）]

性別	男性	12	相談内 容別	新規創業（開業）	12
	女性	13		事業承継	3
	合計	25		販売・マーケティング	3
年齢別	20 代	3		資金調達	2
	30 代	6		経営戦略・経営計画	1
	40 代	7		知的財産権	1
	50 代	5		店舗運営管理	1
	60 代～	3		財務管理	1
	合計	24		合計	24

注．相談内容は「その他」を除き、相談があった項目のみ掲載しています

6. 受託事業

（1）継続受託案件

24 年までの継続事業として次の事業を受託しました。

①大分県障害福祉課委託事業（工賃水準アップ事業所支援事業）

事業予算は 2,620 千円で、うち 1,747 千円（消費税別）が報償費です。報償費が事業所（障害福祉施設の授産施設）へ派遣したアドバイザーへの謝金として支払われます。

25 年度の派遣回数は延 85 回で、うち会員が担当した回数は 40 回（47%）でした。謝金は消費税込みで 20,000 円/回です。担当した会員は 5 名（会員以外の専門家は 6 名）でした。

②大分市商工労政課：創業（開業者）支援（22 年度からの継続事業）

本事業では 1 名の会員を派遣いたしました。延べ支援回数は 1 回です。

（2）新規受託案件

①大分県農林水産部水産振興課

県南地区のブリ養殖業者向けの「経営改善講習会」の開催にあたり、会員診断士 1 名をご紹介いたしました。

②大分県農林水産部畜産振興課

県が指導する畜産関連会社に対する経営分析に関し会員診断士の支援依頼がありました。3 名の会員を派遣し支援を行いました。

③経営革新等支援機関としての活動

大分経営改善支援センター事業を活用したスキームにより、2 件の会社の再建事業計画策定の支援を 2 名の会員により行いました。

④大分市産業廃棄物対策課

廃棄物処理法の適正な運用を図るために、申請者（1社）に対する財務分析の要請があり、所定の分析様式を作成した上で、会員1名に財務分析をお願いし所轄部署へ報告を行いました。

(3) 謝金の一部を大分県協会へ納入

大分県協会の規定に基づき、ご紹介した案件等に対して、10%の還元をお願いいたしました。具体的な数値は、「平成25年度・損益計算書」並びに「平成25年度正味財産増減計算書」にてご確認下さい。

7. 行政等が開催する会議への出席

大分県協会の活動に活かすため、九州経済産業局や九州財務局等が主催する会議に出席し、行政の施策の理解と情報の収集に努めました。

会議名	主催者	開催月日	出席者
金融庁の業務説明会	九州財務局大分財務事務所	25.10.9（水）	清成、岡田、甲斐
よろず支援拠点九州ブロック説明会	九州経済産業局産業部中小企業課	26.1.16（木）	岡田
地域密着型金融に関するシンポジウム	九州財務局	26.3.6（木）	甲斐、吉松

8. 委員会活動

大分県協会の活動の質と量を高めるために、25年度では役員や一般会員から有志を募って、3つの委員会活動を展開してきました。その活動内容は次のとおりです。

(1) 業務受託推進委員会

①担当理事等

雪野佐喜子（副会長・委員長）、秋吉英矢（理事）、岡田磨左英（理事）

②活動の履歴

6月13日（木）に第1回目の会合を開き、委員会の進め方等について協議しました。第2回目以降の活動は次のとおりです。

・8月5日	活動計画の検討
・9月21日	大分県協会パンフレット制作に関して広報委員会と合同打合せ
・11月11日	大分県協会パンフレット制作に関して広報委員会と合同打合せ
・12月	診断士活用のお願い文書をパンフレットと一緒に、78ヶ所・1,368通を広報委員会と全役員の協力を得て配布
・3月28日	・大分みらい信用金庫様と業務提携の覚書を締結

③成果

ア) パンフレットの配布

広報委員会が作成したパンフレットを持参又は郵送にて案内しました。この活動には

訪問機関を委員会が割り振りし、協会役員全員が訪問し説明に当たりました。

- ▶行政等：大分県商工労働部、大分市役所商工労政課など
- ▶公的支援機関：大分県産業創造機構、大分商工会議所、大分県商工会連合会など
- ▶その他：大分銀行、豊和銀行、大分みらい信用金庫、大分信用金庫、大分県信用組合など

イ) 大分みらい信用金庫様と業務提携

大分みらい信用金庫様と、平成 26 年 3 月 28 日（金）に「業務提携に関する覚書」を締結しました。これは翌日の大分合同新聞朝刊にて大きく写真付きで報道されました。

(2) 広報委員会

①担当理事等

甲斐幸・（監事・委員長）、堀勇（理事）、河野直幸（理事）、是永逸郎（会員）、鍵野正則（会員）

②活動の履歴

6 月 17 日（月）に第 1 回目の会合を開き、委員会の進め方等について協議しました。計 4 回の会合を開催しました。大分県協会のパンフレット作成のため、平成 25 年 8 月に刊行されました中小企業白書を元データとして採用しデザイン等を工夫しました。

なお、業務受託推進委員会とも連携をとりながら最終の調整を行い、大分県協会として初めてのパンフレットとなりました。

③成果

A4 サイズ・2 つ折の「-経営コンサルタントの唯一の国家資格-中小企業診断士」のパンフレットを 2000 部作成しました。このパンフレットは受託推進委員会の協力を得て、関係者へ広く配布いたしました。

9. 中小企業診断士受験講座の開講

(1) 開講の目的

中小企業診断士の登録方法は幾つかあるものの、過去の試験制度の改革により一次試験に合格しなければ、次の段階へ進められない様になっています。大分県協会の正会員の中にも「大分県内に通学コースの講座があったので診断士に登録できた」という声も多くあります。

そこで、中小企業診断士を目指す方々へ講座を開設するとともに、中小企業診断士制度を広く広報する意味も含めて、平成 24 年度より講座を開設・運営しております。なおテキストの提供等で、学校法人大原簿記公務員専門学校（株式会社大原キャリアスタッフ九州）様のご協力を得ております。

(2) 運営委員、受講生並びに講師

26 年度受験対策講座の受講生数、所属並びに講師については次頁のとおりです。

運営委員	・吉松研一（監事・委員長）、菊池武司（理事）、蔵前達郎（理事） 首藤毅（会員）、中川智仁（会員）
------	---

受講生	<ul style="list-style-type: none"> ・総数：19名（うち、全7科目一括受講15名、科目別受講4名） <ul style="list-style-type: none"> ※一括受講の受講生1名が海外転勤の為に受講中止となっています(減数処理済) ・賛助会員の行員・職員等12名、賛助会員外の会社員等7名 <p>※賛助会員の行員等の受講料（一般168千円（消費税込み））は126千円と割安にしています。</p>
講師	<ul style="list-style-type: none"> ・川野浩史先生：企業経営理論、経済学・経済政策 ・中川智仁先生：財務・会計、中小企業経営・中小企業政策 ・鍵野正則先生：運営管理（生産・店舗） ・首藤毅先生：経営情報システム、経営法務

（3）事業予算及び実績

中小企業診断士受験講座の予算書と実績を、25年度受験対策と26年度受験対策に区分して整理してみました。25年度受験対策講座は694千円の黒字予算を立てていましたが、実績は765千円の黒字を達成することができました。26年度受験対策も694千円の利益を見込んでいます。大分県協会の財政に大きな貢献をしていることを報告いたします。

単位：円

科 目	平成25年度対策		平成26年度対策				
	予算額	決算額	予算額	単価	数	摘 要	
一般受講生	通常コース	504,000	504,000	504,000	168,000	3	3名、全7科目一括受験
	科目別選択コース	0	0	0	0	0	受講したい科目のみを選択して受講
		504,000	504,000	504,000		3	※予算は336,000円
賛助会員・社員	通常コース	1,638,000	1,638,000	1,638,000	126,000	13	13名、全7科目一括受験
	科目別選択コース	56,962	56,962	56,962	56,962	1	受講したい科目のみを選択して受講、1名
		1,694,962	1,694,962	1,694,962		14	※予算は1,260,000円
売上高		2,198,962	2,198,962	2,198,962		17	※予算は1,596,000円、予算比602,962円増
人件費	通常講義	560,000	580,000	560,000	10,000	56	56回×10,000円
	答案練習	125,000	125,000	125,000	5,000	25	25回×5,000円
		685,000	705,000	685,000			
場所代	冷暖房無	66,240		66,240			@690×8時間×3ヵ月×4回/月
	冷暖房有	278,208		278,208			@690×8時間×9ヵ月×1.4×4回/月
		344,448	235,240	344,448			コンパルホール・39人部屋を予定、@690円/時間
通信費	講師対応	19,440	64,130	19,440			欠席受講生への対応等、12名×40.5日×80円×1/2
	事務局対応	36,000	81,580	36,000			受講生への連絡等、12名×15回×200円
		55,440	145,710	55,440			
印刷代	講師対応	10,080	44,945	10,080			資料等印刷費、12名×28日×10円/枚×3枚/回
	事務局対応	4,800	870	4,800			事務連絡等、12名×20回×10円/枚×2枚/回
		14,880	45,815	14,880			配布資料の印刷費、12名×40.5日×10円/枚
消費税等		104,712	104,712	104,712			売上高－(売上高÷1.0.5)
テキスト代		100,000	100,000	100,000	50,000	2	@50,000×2冊(講師+事務局)
広告宣伝費		150,000	93,425	150,000			
雑費		50,000	3,325	50,000			予備費として5万円
経費計		1,504,480	1,433,227	1,504,480			
利益		694,482	765,735	694,482			

(4) 成果と課題

中小企業診断士受験講座は2年目が継続中ですが、成果と課題もみえてきました。

① 成果

法人賛助会員の行員や職員の方々に講座を安価な受講料で受講してもらうことで、法人賛助会員に対するサービスとなっています。また、中小企業診断士を目指す人々が多いこと、また大分県協会のHPに講座開設をアップしていることから、会員中小企業診断士の業務開拓推進への大きな支援策となっています。

② 課題

一番の課題は一次試験の合格者を毎年、確実に輩出させることです。一発合格は難しくても、科目別合格者を増やせるよう、講師陣のスキルアップも必要となっています。

10. 交流活動の推進

(1) 三県合同交流会

今年は佐賀県協会の主宰で、25年9月13日(金)に佐賀県武雄市にて、大分県、佐賀県、熊本県の三県合同研修会が開催され、大分県より7名が参加致しました。民間委託で全国的に有名になっている武雄市立図書館の見学と館長のお話し、地域産業でもある窯業会社の社長の講話など有意義な研修会となりました。

▶ 参加者：清成真一、甲斐幸・、吉松研一、岡田磨左英、阿部芳久、是永逸郎、鍵野正則

(2) 愛媛県協会との交流会

愛媛県協会のお膝元である松山市は道後温泉が有名です。愛媛県協会では毎年会員の知識アップの為に研修旅行が挙行されているとのこと。25年度は大分県別府市由布市湯布院町を訪れて、温泉旅館や観光ホテルの視察が行われました。

愛媛県協会のご要望により、大分県協会の自主研究会「ホテル旅館経営支援研究会」をご紹介したところ、7月8日(月)に会員らと意見交流会が設けられ、活発な論議が交わされました。

▶ 参加者：中川智仁、阿部芳久、雪野佐喜子、岡田磨左英

(3) 他士業との交流会

今年も実施することができませんでした。

11. 会員間交流、広報活動

(1) HPの活用

HPに会員の動向や大分県協会が主催する事業等の紹介を適時アップ致しました。大分県協会及び会員の活動をアピールできる機会ですので、積極的に活用して頂きたいと思います。

[アップした協会主催事業等]

- ・理論政策研修会の案内と実施
- ・26年度受験対策中小企業診断士受験講座のご案内
- ・大分、熊本、佐賀の三県合同研修会の報告

- ・大分県立図書館でのビジネス図書館無料相談会のご案内
- ・工賃水準アップ事業所支援事業（大分県障害福祉課）の様式のダウンロード
- ・自主研究会・調査研究事業の報告書

[アドレス]

- ・HPアドレス：<http://www.oita-smeca.com/>
- ・Eメール：office@oita-smeca.com
- ・メーリングリスト：member-ml@oita-smeca.com

(2) 会員交流の場の設営

メーリングリストやフェイスブックによる会員交流を進めました。中小企業庁からの依頼文・パンフレット、他県協会の会報、月次研修会の開催案内などを随時提供いたしました。

(3) 大分県協会会報の不発行

会報委員会の活動の主体が中小企業診断士制度を告知するパンフレット（「-経営コンサルタントの唯一の国家資格-中小企業診断士」）の作成となったため、25年度も発行するに至りませんでした。

1.2. 理論更新研修

25年度は次の内容にて実施しました。修了者数は115名でした。今年は大分県内で活躍している女性経営者3名によるパネル討論会を開催しました。パネリストのお話しが一段落した後、コーディネーターの司会によりパネリストと会場との間で活発な意見交換会が実施され、多いに盛り上がりました。

研修会終了後には大分市都町のアリストンホテルで懇親会を開催し、研修会の講師2名も参加され、総勢32名の大懇親会となりました。

実施月日等	25年9月7日（土）、13時～17時
場所	大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」2F大会議室（大分市東春日町1番1号）
研修科目	<p>①新しい中小企業政策の動向 講師：富田一弘氏（大分県商工労働部金融経営支援室主幹）</p> <p>②中小企業の新事業開発 講師：秋吉英矢氏（大分県協会理事）</p> <p>③中小企業における新事業開発、新分野進出、新製品開発、事業多角化の事例 講師：山村恵美子（株式会社みらい蔵代表取締役） 宮脇恵理（ミヤシステム株式会社常務取締役） 二宮博美（湯布院湯平温泉 有限会社山城屋専務）</p>

1.3. 25年度資格更新登録者

例年と同様に中小企業診断協会（本部）との連絡を密にし、容易に資格更新ができるよう支援しました。例えば、毎年参加されている理論更新研修の修了証明書を紛失したことによ

る再発行の手続を行いました。なお、25年度に資格更新を行った会員は11名です。

14. 平成25年度・年間行事等一覧表

大分県協会が実施した主な行事等は次のとおりです。各委員会の活動、国の行政機関から出席を要請された会議への出席については割愛しています。

種 別	期 日	摘 要
月次研修会	25.4/17(水)	株式公開(IPO)の手順と企業経営にもたらす効果
設立総会	25.5/11(土)	アリストンホテル
月次研修会	25.5/15(水)	大分県内の長寿企業研究成果の報告
大分県再生支援協議会	25.6/7(金)	再生支援協議会連絡会議
受託委員会	25.6/13(木)	第1回目検討会
広報委員会	25.6/17(月)	第1回目検討会
診断士受験委員会	25.6/17(月)	第1回目検討会
診断協会	25.6/19(水)	(一社)中小企業診断協会定時総会
月次研修会	25.6/19(水)	中小企業再生(経営改善)の取組み状況と大分県における支援実施体制の構築について
月次研修会	25.7/17(水)	シェール・ガス革命と再生エネルギー
大原簿記公務員専門学校小倉校	25.7/27(土)	診断士講座に係る契約書締結
理事会	25.7/29(月)	更新研修、診断士講座開設
月次研修会	25.8/7(水)	労働法の知識～基準法と契約法を中心として～
更新研修	25.9/7(土)	アイリス、13時～17時
三県会員交流会	25.9/13(金)	佐賀県武雄市
診断協会九州ブロック協議会	25.10/11(金)	沖縄県協会主宰
月次研修会	25.10/16(水)	介護支援施設の現状と支援体制
5団体研修会	25.11/9(土)	ホルトホール大分
理事会	25.12/19(木)	九州ブロック協議会報告、受託事業の検討
月次研修会	26.1/15(水)	税金のあれこれ～税法改正を中心として～
月次研修会	26.2/12(水)	BSC(バランススコアカード)を使った経営革新計画策定支援
理事会	26.2/20(木)	25年度事業の反省、26年度事業の検討
月次研修会	26.3/12(水)	6次産業化支援のポイントについて
理事会	26.3/18(火)	25年度事業の反省、26年度事業の検討
大分みらい信用金庫	26.3/28(金)	個人経営の温泉旅館に対する経営支援アプローチについて
(3)	26.3/25(月)	業務提携の覚書締結

15. 決算書類

別紙を参照下さい。